

令和5年度第1回花巻市史編さん委員会 会議録

1 開催日時

令和5年6月30日（金） 午前10時30分～午前11時30分

2 開催場所

花巻市博物館 講座・体験学習室

3 出席者

(1) 委員8名

七海雅人委員、兼平賢治委員、田中藍子委員、大原皓二委員、阿部茂巳委員、
菊池邦雄委員、高橋信雄委員、中村良幸委員

(2) 花巻市教育委員会 佐藤勝教育長

事務局（博物館市史編さん室）5名

佐藤恒室長、小原伸博上席主査、因幡敬宏主査、畠山滉平学芸調査員、
柳原純也行政事務員

4 内容

・協議

(1) 花巻市史編さん基本方針（案）について

(2) 令和5年度スケジュールについて

5 議事録

開会[進行：佐藤恒室長]

あいさつ

(佐藤勝教育長)

先生方には、早い時間からご出席いただき大変ありがとうございます。

本日は前回に続き2回目の委員会となります。

前回は委員長、職務代理者のご選出、それから編さん室設置に関する経過のご報告に続いて市史の構成、専門部会の設置などをご協議いただきました。それから4市町の時代に発刊された市史、町史の内容では、特に考古分野、歴史分野においてもだいぶ研究が進み、内容が異なることなど、たくさんの貴重なご意見をいただく

ことができました。さらに、市民への活用、児童生徒にもわかる通史、それから基本方針の策定というところが大きなポイントになったと思います。

本日は、この児童向け市史の発行も含めて基本方針案と大まかなスケジュールについてご協議をお願いしたいと思います。

花巻という地域性、これまでの市史等の発刊、あるいは歴史研究等の実態、そういったものを加味しながら、ご専門の立場からご指導賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

(議事)

(佐藤恒室長)

それではこれより議事に入ります。

議長は市史編さん委員会設置要綱第4条第2項の規定によりまして、委員会の委員長でございます高橋信雄様にお願いいたします。

(高橋信雄委員長)

まず議事に先立ちまして、花巻市審議会等の会議の公開に関する指針の4により、委員会の公開または非公開の決定を委員に諮ることが定められております。

当委員会を公開することによろしいでしょうか。

[委員より「はい」という声あり]

それでは公開ということで進めたいと思います。

本日は協議事項が2点あります。

まず、協議(1)の花巻市史編さん基本方針(案)について、事務局からご説明をお願いします。

[因幡敬宏主査：1. 目的、2. 編さん方針について説明(会議録への記載省略)]

(高橋信雄委員長)

市史編さんの目的と編さん方針について、委員の皆様からご意見をいただきたいと思っております。

[意見なし]

続いて、全体構成について事務局からご説明をお願いします。

[因幡敬宏主査：3. 全体構成について説明(会議録への記載省略)]

(高橋信雄委員長)

全体構成の中で通史編、資料編の2編で構成する案、通史編のみで構成する案、通史編、資料編、特別編の3編で構成する案、この3つの構成案についてご意見をいただきたいと思います。

(田中藍子委員)

構成案2ですが、例えば近現代資料が多いのであれば2巻に収めようとするのではなく、3巻に増やせばデメリットにならないと思います。構成案1は全部で9巻です。構成案3に至っては15巻、それに対して、構成案2は7巻に収めなければいけない理由があるのですか。

(因幡敬宏主査)

理由はございません。事務局としては構成案2の場合、市の大きな出来事とそれから市の特徴的な分野、資料編に掲載するような資料の詳細をまとめたものになりますので、これらを合体させたものだと、読者からすれば少し読みにくくなると考え、構成案2の方はあまり望ましくないと考えております。

(田中藍子委員)

専門家が編さんするわけで、ちゃんと整理して刊行すれば問題ないと思います。

研究者の立場からすると、各所に飛んだり、重い本をいくつも持ってきたり、調べものをするときに不便です。

また、PDFで公開したときも、2つのPDFをまとめて見るというのは結構大きいモニターを使わないと比較して見られないため、1つにまとめたPDFで見られる方が便利だと思います。

価値観の問題ですので、人によって違うとは思いますが、構成案2が悪い案だとは思いませんでした。

(高橋信雄委員長)

その他ありますか。兼平先生いかがでしょうか。

(兼平賢治委員)

事務局が言う構成案1、構成案3が良いと考えています。

構成案2ですと通史編を書く上で、根拠になった資料をきちんと提示することが必要だと思います。ですから、通史編と資料編は分けた方がいいと考えています。

旧花巻市史は、論文と資料集みたいなものがあるだけで、体系的な資料集というものが編まれていません。通史編も論文を集めたような形で、きちんとした形の通

史となっていません。他の市町村で合併したところは、通史編と資料編を揃えているところはありますが、旧花巻市史はそうになっていないので、通史編それから資料編を揃えた方がいいのではないかと考えます。

構成案3の特別編は、刊行数が少し多い感じがします。例えば、観光や交通は近現代の目玉になるもので、わざわざ離す必要は無いと思います。

一方で自然とか美術工芸、芸能は花巻を代表するものであり、専門の方にまとめてもらった方が市としての特徴も打ち出せるのかなと思います。

私は、構成案1であれば、通史編と資料編を揃えた形にするか、構成案3であれば特別編を検討し、スリムにする方法もあるのではないかと考えます。

(高橋信雄委員長)

ありがとうございます。ちなみに、他の市町村ではどのような構成になっているか、教えていただけませんか。

(因幡敬宏主査)

事務局が調べた限りですが、構成案1に該当する自治体史は、県内外5市町村で紫波町史、江刺市史、弘前市史、十和田市史、阿仁町史が挙げられます。構成案2に該当する自治体史は県内外5市町村で、矢巾町史、三沢市史、東北町史、西仙北町史、涌谷町史が挙げられます。構成案3に該当する自治体は一番多く、17市町村になります。盛岡市史、遠野市史、青森県史、青森市史、八戸市史、秋田県史、鹿角市史などが挙げられます。

先ほど、兼平先生からもお話がありました通り、構成案3はほとんどの自治体で特別編の巻数を少なくして発行している状況です。北上市史の特別編は自然と民俗に限定しており、鹿角市史は民俗だけ発行しています。

(高橋信雄委員長)

ありがとうございます。

兼平先生から話がありましたように、花巻の特色を出した方が良いことになると、特別編で自然が入って、通史編になると自然が入らない通史になってしまうのか、通史の中に自然の説明を設けるか、どちらかでないと自然を抜いた花巻はあり得ないと思います。自然、美術工芸、芸能は確かに花巻の特色でもありますから、この辺もどうするか検討が必要になるとと思いますが、皆さんいかがでしょうか。

(兼平賢治委員)

花巻の特色である自然、美術工芸などを通史編で取り上げずに特別編で取り上げるのではなく、特別編の方はあくまでも専門的な形で写真や文章を入れていく形

で、通史の方にも自然、美術工芸、芸能に関する記述も触れなければ歴史は描けませんので、当然触れることにはなると思います。

ですから、通史編と特別編を全く切り離すということではないと思います。

(高橋信雄委員長)

その他いかがでしょうか。

(阿部茂巳委員)

民俗の取扱いについては、どのように考えていますか。

(因幡敬宏主査)

現時点では、民俗も通史編の中に組み入れたいと考えております。

(佐藤勝教育長)

阿部先生、民俗の組み入れ方について実際はどうなのでしょう。民俗は非常に大事な分野ですし、やはり特別編で民俗として取り上げた方がいいのか、通史編の中に組み入れた方がいいのか。

(阿部茂巳委員)

民俗というのは非常に重要だと思いますね。柳田國男のような民俗で、果たしてまとめられるかということですね。これは大変難しいと思います。

花巻全体で芸能は当然、大事に扱わなければならないし、宗教も仙台藩が近くなので、様々な宗教が入ってきているので無視することはできない。

例えば、北上市では民俗という形で1冊にまとめようとしていますが、どういう形でまとめるのか、難しいと思います。

(兼平賢治委員)

今の阿部委員のご意見に付け足してよろしいでしょうか。

新編北上市史では、民俗編の中で芸能も扱っています。新編遠野市史の場合でもそのようにやっています。

例えば、民俗という言葉がないので不安になるかと思いますが、民俗芸能という形の特別編、花巻だと芸能っていうのもあったほうがいいのかなと思います。民俗編でもいいですし、民俗芸能っていうところでこの特別編はまとまるといいのかなと考えます。民俗芸能編ということも考えられると思いました。

(田中藍子委員)

質問ですが、構成案1や構成案3になった場合、実際執筆するグループを作っていくときに、例えば先史のグループは、通史編と資料編を同時に執筆していくのか、それとも通史編を担当するグループと資料編を担当するグループで分けるのか、どちらなのでしょう。

(因幡敬宏主査)

執筆者につきまして、これから専門部会を立ち上げていくことになりますので、専門部会の中で執筆することになります。

例えば、構成案1の場合、先史部会を立ち上げて先史部会の中で資料編、通史編を同時に並行して執筆し、発行まで行くというように想定しております。

(高橋信雄委員長)

資料編に特別編を紛れ込ませるという方法も無いわけではない気がします。

今ここで結論を出すのは難しいですが、通史編、資料編、特別編というような形にするのか、資料編、通史編だけにするのか、あるいは構成案1と構成案3を合体させたような形にするのか検討する必要があると思います。

全体構成について中村委員、いかがでしょうか。

(中村良幸委員)

先ほど委員長が言われました、資料編の中に特別編を入れるのはちょっと難しいと思います。民俗は中世から近世、近代まで続いているものや、江戸時代から始まっているものが多いですが、江戸時代から今の状況までとなると、分けるのは難しいという気がします。

通史編に、全部入れるのは大変な作業なので、構成案1が良いと思います。

確かに花巻の特徴からすれば自然、民俗というのは外せない面がありますので、別巻で出したいという気はします。先人については、花巻には高村光太郎から新渡戸稲造、萬鉄五郎、宮沢賢治と4人の個人顕彰館もある市なので、その辺も少し入れたらいいという気もします。

(阿部茂巳委員)

花巻市は構成案3でやれないのですか。

(高橋信雄委員長)

今後のことですが、委員の皆さんからご意見をもらって、事務局の方で再検討になると思いますが、通史編、資料編だけではどうしても花巻の特徴的なところ

が抜けてしまうというのが1つ、懸念材料として挙げられるかと思えます。

事務局としては構成案1でということでしたけれども、委員の皆様のご意見も踏まえ構成案3も考える必要があると感じますが、いかがでしょうか

全体構成については構成案1と構成案3をもう一度検討してもらおうということで、次の児童向け市史の発行について、説明をお願いします。

[因幡敬宏主査：4. 児童向け市史の発行について説明（会議録への記載省略）]

(高橋信雄委員長)

児童向け市史の発行についてご意見ををお願いします。

(小原伸博上席主査)

少しよろしいでしょうか。事務局から報告があります。

今日、欠席されております佐藤由紀男先生からご意見をいただいております。

構成について、通史編、資料編、特別編の3編構成が望ましいというご意見をいただいております。

児童向け市史につきましては、通史編の後に刊行した方がいいのではというご意見もいただいております。

(高橋信雄委員長)

委員の皆様からご意見をいただきたいと思えます。

(七海雅人委員)

児童向け市史のお話については、刊行されること大賛成です。ぜひ取り組んでいただければと思います。

刊行の時期についてですけれども、佐藤由紀男先生から通史編、資料編の後ということでしたが、私もそれは1つの案ではないかと思っております。各自治体でそれぞれ工夫を凝らして児童向け市史やダイジェスト版、色々なカラー写真がたくさん載っているミニ市史みたいなものが刊行されており、いずれも傾向としては、事務局が考えられたように先行して出しております。その後、資料編、通史編というように刊行されていくわけですが、そうすると結局、研究成果というのが反映されないままの児童向け市史で、私としては物足りない印象を持っております。

せっかく未来の花巻を担う方々のための市史ということであれば、ある程度資料編に関する調査研究が進んだ段階で、従来の歴史像からさらに一步進んだような歴史を未来の花巻を担う子供たちに提示できる、そういった刊行スケジュールにすべきではないかなと思いました。

(高橋信雄委員長)

ありがとうございます。その他ありますか。

(阿部茂巳委員)

ダイジェストというのは、通史編が出来た後に縮小するのが普通じゃないですか。そうしないと、ダイジェストではなくなってしまう。

(高橋信雄委員長)

おっしゃったことはよくわかります。

ダイジェスト版を先行させてしまうと、研究が進まないままでダイジェスト版を作るので何かおかしい。今回、花巻の全体像を捉え直そうというのがこの市史の本来の姿だとすれば、そういう研究を進めた上でのダイジェスト版であって、従来の市町史を寄せ集めたダイジェスト版ではないような気がします。

七海先生、佐藤先生から出されたこの意見は、非常に重要ではないかなと思います。出し方については、再検討していただきたいと思います。

(佐藤勝教育長)

児童向け市史が必要だということで大変ありがたいと思いますが、市史編さんの作業に入り、完成が18年ということで、実はすごく期待している市民の人たちが多いのも事実です。

そうすると、完成を待つ間にこの辺まで研究が進みました、あるいはこんなことがわかりましたとか、そのような途中経過をどのように市民の方に還元していくか。そういったことも、ご意見があればお聞かせいただければありがたいです。

(高橋信雄委員長)

そのほかご意見ありますか。

[意見なし]

児童向け市史は非常に重要だということは委員の皆さんも、教育長さんの方でもお考えのようですので、ぜひ作っていただくということをお願いするとともに、その出し方、発信の仕方をもう一度検討していただきたいと思います。

それでは、刊行目標と編纂の体制について説明をお願いします。

[因幡敬宏主査：5. 刊行目標、6. 編さん体制について説明（会議録への記載省略）]

(高橋信雄委員長)

大よその目標が示されたわけですが、ご意見を頂きたいと思います。

[意見なし]

これからが大変で、一応目標とすれば、市制30周年の節目を目標にするということによろしいですか。

次に令和5年度のスケジュールということですが、説明をお願いします。

[因幡敬宏主査：令和5年度スケジュールについて説明（会議録への記載省略）]

(菊池邦雄委員)

市史、町史に掲載されている資料の所在調査というのがありますが、わからなくなっているのも相当ありますよね。世代も変わっていますし、私も色々聞き取りの調査をしていますが、ほとんどわからない状況で大変だと思います。

(阿部茂巳委員)

マイクロフィルム化は予定しているんですか。

(小原伸博上席主査)

マイクロフィルム化というよりは、デジタル化をしていく予定でございます。

集めた資料はデータ化していき、今後の資料として役立てようと考えております。

(阿部茂巳委員)

花巻城代日誌というのがありますけども、それについては県立図書館に原本はありません。

県立図書館でもマイクロフィルム化しておりますけれども、そういう大事なものをこの機会にマイクロフィルム化して一般に利用してもらえるようなこともぜひ行っていただきたいと思います。

(因幡敬宏主査)

現在、マイクロフィルムを閲覧できる機械がそもそも減ってきているという状況です。

花巻城代日誌などの資料に関しては、改めて撮影し直して、データ化する方向でおります。

(阿部茂巳委員)

新しい方法でもいいですけども、せっかくの機会なので、資料を広く市民に公開できるような体制を作っていただきたいと思います。

(佐藤勝教育長)

先ほどのご意見で、児童向け市史については通史編の後ということの意見が多かったように思いますけども、資料編と通史編をしっかり作って、ダイジェスト版ということであれば、スケジュールで児童向け市史の原稿執筆における資料収集、聞き取りとか入っていますが、その辺後でもいいのか、やはり今のうちにやっておいた方がいいのか、今年のスケジュールとして、この辺の何かご意見いただければと思います。

(兼平賢治委員)

先ほど児童向け市史については市史の成果を受けてということでしたので、令和5年度の計画でいうと、やはり資料の所在確認ですね。これをまずは徹底して行っておかないとスタートが切れません。

まずは資料編を編さんして、その資料に基づいて通史編っていう形になりますので、まずは今回4市町が合併していますので、それぞれの自治体史でどんな資料が使われていたか確認しようと思うと見つけるのが本当に困難です。

情報提供を呼びかけたことによって、新たな資料が見つかることもありますので、新たに市史を編さんするっていうことで市民の方々に情報の提供を呼びかけて所在確認することを、ぜひ始めてほしいと思います。

あともう一点は、集めた資料を結局どうするのかということも、検討していただいた方がいいと思います。残念ながら、市史編さんの過程で集まった資料をうまく活用しようと思って、資料館や公文書館みたいな形に発展させようとしても、うまくいかなかったところもあります。そういったことを踏まえ、青森県史ではデータ化したものをどんどん公開していますので、所在確認と新たに収集した資料をどのように後世に伝えていくのかという方策を検討していただきたいと思います。

(高橋信雄委員長)

ありがとうございます。先ほど佐藤教育長がお話された児童向け市史の原稿執筆というような項目じゃなくて、まず今始めるのは資料の所在確認、収集活動でここに書いた児童向け市史というのは、先行して資料を集めるという意味での記述になっていると思いますので、まずは通史編、資料編のための徹底した資料の所在確認を先行させるべきだというようなことで、もちろんそれは児童向け市史の出発地点になるわけですので、まず徹底した資料確認をやっていただきたいということで、よろしいでしょうか。

方向性として事務局から提示されたものを基本にしながらスタートさせてもらうことになってしまいますけれども、何度も言うようですが、まず資料の所在確認を徹底していただくということをお願いしたいと思います。

あとご意見がなければ、協議はこれで終わらせていただきたいと思います。

(佐藤恒室長)

委員長ありがとうございました。

その他

(佐藤恒室長)

それでは4番のその他になります。皆様の方から何かございますでしょうか。

(兼平賢治委員)

よろしいでしょうか。盛岡市にある県の公文書センターの資料の中に、江戸時代の花巻城の絵図があるよということで、一度見せていただきました。もしかしたらすでに花巻市のほうで把握されているかもしれませんが、非常に綺麗な色彩で、裏打ちもされていて、状態も良いものでしたので情報提供したいと思います。

(佐藤恒室長)

ありがとうございます。

博物館の方でも把握はしておりましたので、また情報共有したいと思います。

他に何かご意見等ありますでしょうか。

[意見等なし]

無ければ以上をもちまして、令和5年度第1回花巻市史編さん委員会を閉会とさせていただきます。

皆様どうもありがとうございました。

閉会

(以上)